

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	弘前市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人弘前市医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科	夜・通信	42単位	6単位	※
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/hmana/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 看護専門課程看護学科
(困難である理由) 大学等で教員としての豊富な経験はあるが、臨床経験の無い講師が居るため。

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	弘前市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人弘前市医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	看護専門学校運営委員会
役割	学校の運営及び学生・生徒に関する事項を審議する。 授業料等、学費の改正に関すること。 進級、卒業の認定に関すること。 学則の改正に関すること。 学生の懲罰に関すること。 学費免除規定に関すること。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
開業医院長	2020. 6. 15～ 2022. 6. 14	弘前市医師会会員
病院院長	2020. 6. 15～ 2022. 6. 14	弘前市医師会会員
病院名誉院長	2020. 6. 15～ 2022. 6. 14	弘前市医師会会員
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	弘前市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人弘前市医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) カリキュラムに則った適任者を前年度10月頃より選定し、依頼を開始している。3月までに年間授業計画書を作成、学生向け「学生便覧」等と一緒に4月の講義開始前のオリエンテーションで学生に説明している。講師のスケジュール変更等が生じることがあるため、月ごとの時間割表を作成し学生に配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/hmana/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (成績の評価) 成績の評価は、試験・出席状況・課題提出で行い、詳細については以下の通り。 (評価) 評価は試験又は課題提出をもって行う。 (試験) 各科目別にその科目の担当講師がこれを行う。 (1)原則として試験は、1講師毎に実施しその関係科目講師との協議によってその科目の評価とする。 (2)試験は、講義が終了した学期末までに行う。但し担当講師が必要と認めるとき、これ以外に行うことができる。 (3)試験は、記述試験、口答試験、実技試験等によって行うものとする。 (4)臨地実習の評価は、実習評価表に基づいて行う。 (5)所定の期日までに学習課題を提出しなかった時は、試験又は評価を受ける資格を失うことがある。 (成績評価) 成績評価は、各科目毎に100点満点とし、60点以上を合格とする。ただし、再試験に合格した者の成績評価は60点とする。 (単位の認定) 授業科目の履修状況を確認の上、所定の単位を与える。 単位の認定は、認定に必要な出席時間数以上の出席と当該科目の評価(試験、学習状況、学習課題提出等)により行う。 単位の認定とは次の要件を満たしているものをいう。 (1)学習課題が提出されていること (2)出席時間数が3分の2に達し、かつ必要な補習を終了していること (3)科目の成績評価が60点以上であること 臨地実習においては、欠席時間数が3分の1未満であっても、看護師等養成所の運営に関する指導要領で規定された実習時間数を満たしていなければ単位を認定しない。 前項における規定の実習時間数に達しない者は、不足した実習時間数を臨地において補習実習を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>①前期・後期の終了時に合わせ、成績順位を作成し学生に成績表として出している。 (各履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、総合点と平均点により順位を決定し全体の成績表を作成)</p> <p>②これをもとに、客観的な指標となる分布表を作成する</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/hmana/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(卒業認定)</p> <p>所定の課程を修了した者について、卒業を認定する。</p> <p>①卒業認定は、次の各号に該当しなければならない。</p> <p>(1)全科目の評価が、60点以上の者</p> <p>(2)所定の授業時間数の3分の2以上出席した者</p> <p>(3)准看護学科において、出席日数が3分の2未満であっても、所定の学科の補習及び補習実習を修了した者</p> <p>②学校長は学校運営委員会の議（卒業認定会議）を経て、卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/hmana/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	弘前市医師会看護専門学校
設置者名	一般社団法人弘前市医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/
収支計算書又は損益計算書	http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/
財産目録	公益的支出計画実施報告(弘前市医師会事務局窓口にて閲覧可能)
事業報告書	公益的支出計画実施報告(弘前市医師会事務局窓口にて閲覧可能)
監事による監査報告(書)	公益的支出計画実施報告(弘前市医師会事務局窓口にて閲覧可能)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療(看護)		看護専門課程	看護学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	72単位/単位	1230 時間	210 時間	720 時間	0 時間	30 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		110人	0人	7人	107人	114人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) カリキュラムに則った適任者を前年度10月頃より選定し、依頼を開始している。3月までに年間授業計画書を作成、学生向け「学生便覧」等と一緒に4月の講義開始前のオリエンテーションで学生に説明している。講師のスケジュール変更等が生じることがあるため、月ごとの時間割表を作成し学生に配布している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績の評価は、試験・出席状況・課題提出で行い、詳細については以下の通り。 (評価) 評価は試験又は課題提出をもって行う。 (試験) 各科目別にその科目の担当講師がこれを行う。 (1)原則として試験は、1講師毎に実施しその関係科目講師との協議によってその科目の評価とする。 (2)試験は、講義が終了した学期末までに行う。但し担当講師が必要と認めるとき、これ以外に行うことができる。

(3) 試験は、記述試験、口答試験、実技試験等によって行うものとする。
 (4) 臨地実習の評価は、実習評価表に基づいて行う。
 (5) 所定の期日までに学習課題を提出しなかった時は、試験又は評価を受ける資格を失うことがある。

(成績評価)
 成績評価は、各科目毎に100点満点とし、60点以上を合格とする。ただし、再試験に合格した者の成績評価は60点とする。

(単位の認定)
 授業科目の履修状況を確認の上、所定の単位を与える。
 単位の認定は、認定に必要な出席時間数以上の出席と当該科目の評価（試験、学習状況、学習課題提出等）により行う。
 単位の認定とは次の要件を満たしているものをいう。
 (1) 学習課題が提出されていること
 (2) 出席時間数が3分の2に達し、かつ必要な補習を終了していること
 (3) 科目の成績評価が60点以上であること

臨地実習においては、欠席時間数が3分の1未満であっても、看護師等養成所の運営に関する指導要領で規定された実習時間数を満たしていなければ単位を認定しない。
 前項における規定の実習時間数に達しない者は、不足した実習時間数を臨地において補習実習を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要)
 (卒業認定)
 所定の課程を修了した者について、卒業を認定する。
 ①卒業認定は、次の各号に該当しなければならない。
 (1) 全科目の評価が、60点以上の者
 (2) 所定の授業時間数の3分の2以上出席した者

②学校長は学校運営委員会の議（卒業認定会議）を経て、卒業を認定する。

学修支援等

(概要) ①個人面談の実施
 ②3年次国家試験に向けた集中勉強会、補講の実施
 ③放送大学との併修を支援

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100%)	1人 (2.5%)	39人 (97.5%)	0人 (%)

(主な就職、業界等)
 病院、医院、介護施設等

(就職指導内容)
 学生個人の希望を最優先とするが、学生の性格や技術等を総合的に判断し、アドバイスや助言する個別面談を実施している。

(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格 大学等への編入学資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	3人	2.7%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面接の実施とアドバイス		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
准看護学科	100,000 円	400,000 円	60,000 円	教育充実費
看護学科	100,000 円	400,000 円	200,000 円	教育充実費
修学支援 (任意記載 事項)	円	円	円	
看護学科の学生に対し、学費免除規程を設けている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己点検表 (看護専門学校教務室にて閲覧可能)											
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)											
<p>1. 実施方法 ①評価委員を選任し、依頼文書を送付。②承諾を頂き委嘱状と評価の参考資料、返信用封筒を送付。③学校評価会議の開催 (結果報告、質疑応答等) ④学校運営委員会への報告 ※3年毎に実施 (2018年度実施済み) (次回2021年度)</p> <p>2. 主な評価項目 I 教育理念・教育目的 II 教育目標 III 教育課程経営 IV 教授・学習・評価過程 V 経営・管理過程 等</p> <p>3. 委員の選出区分</p> <table border="1"> <tr> <td>①実習施設代表 (看護部門から各1名)</td> <td>④卒業生代表 (各1名)</td> <td>⑦地域住民代表1名</td> </tr> <tr> <td>②講師代表 (各1名)</td> <td>⑤学校教育関係者 大学関係者1名 高等学校関係者1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③父兄代表 (1名)</td> <td>⑥卒業生受入施設1名</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上11名予定</p> <p>4. 評価結果の活用 ①学校としての中期目標とそれを達成する中期計画を立て、3年後には中期目標に対する達成度について客観的に評価を受ける機会とする。②学校関係者評価でいただいた提言に対し、学校側でどのように取り組み、その成果についてもしっかりと報告していく。</p>			①実習施設代表 (看護部門から各1名)	④卒業生代表 (各1名)	⑦地域住民代表1名	②講師代表 (各1名)	⑤学校教育関係者 大学関係者1名 高等学校関係者1名		③父兄代表 (1名)	⑥卒業生受入施設1名	
①実習施設代表 (看護部門から各1名)	④卒業生代表 (各1名)	⑦地域住民代表1名									
②講師代表 (各1名)	⑤学校教育関係者 大学関係者1名 高等学校関係者1名										
③父兄代表 (1名)	⑥卒業生受入施設1名										
学校関係者評価の委員											
所属	任期	種別									
私立病院看護部長	委嘱年の7月1日から 9月30日	看護学科実習施設代表									
同上	同上	准看護学科実習施設代表									

元短期大学助教	委嘱年の7月1日から 9月30日	看護学科講師
社会福祉協議会事務局長	同上	准看護学科講師
保護者	同上	准看護学科父兄
公立病院看護師	同上	看護学科卒業生
NPO 法人代表	同上	准看護学科卒業生
公立大学教授	同上	大学教育関係者
高校進路指導主事	同上	高校教育関係者
開業医院長	同上	卒業生受入施設
市内住民	同上	地域住民代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/hmana/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/hmana/ 学校案内、募集要項 (郵送または来校)
